

へ 議会だより つかい

第102号

2022年8月



新成人は先日の参議院選挙で、はじめての投票を行った（写真は投票を再現）

特集

引き下げとなった成年年齢、別海町の成人式はいつ行う？ ...	2
選挙公営の拡大を審査（新規条例）、小中一貫教育の推進を調査 ...	3
待望の高齢者介護施設、尾岱沼に建設へ	4
遊水池・排水調整池を現地調査	5
政策議会を目指し、委員会活動、議員活動の活性化	6
一般質問（田村、横田、中村、木嶋、外山、瀧川の6議員）	8
定例会・臨時会のまとめ	14
議員研修報告・議会のうごき	15
シリーズ 町民に聞きました 新成人になって思うこと	16



北海道別海町議会



引き下げとなった成年年齢、別海町の成人式はいつ行う？

民法で定められた成年年齢が20歳から18歳に引き下げられたことにより、令和4年4月1日をもって、18歳19歳の方は新成人となりました。

これまでは、20歳になる年度の1月7日に成人式が開催されてきました。

これを、令和4年度以降は18歳を対象に開催するよう段階的に調整していく、と広報別海1月号で告知がありました。

しかし、第2回定例会の田村議員の一般質問（詳細は8ページ）の中で、これまでの決定内容を見直し、再検討するとの答弁がされました。

これを受け、本委員会でも急ぎよ、調査案件とし、教育委員会から経過と今後の対応について説明を受けました。

成人式の18歳移行の波紋は大きく、町民との対話不足、意見集約や説明など不十分であったことから、8月の広報別海で、成人式に関する意向調査のアンケートを実施することが確認されました。

アンケートは、広報誌以外にインターネットを利用し、気軽に回答できる仕組みも取り入れるとのことでした。

委員からは、より多くの町民の意見が集約できる手法を検討するよう申し入れました。

教育委員会は、アンケートの結果を分析し、町成人式の運用に関する考えを早急にまとめる予定です。

なお、12月25日に開催する、20歳を対象とした成人式については、予定通り開催する方針です。

新成人にはいつなる？

現在、未成年の方は、生年月日によって新成人となる日が、次のようになります。

生年月日	新成人となる日	成年年齢
2002年4月1日以前 生れ	20歳の誕生日	20歳
2002年4月2日から 2003年4月1日生まれ	2022年4月1日	19歳
2003年4月2日から 2004年4月1日生まれ	2022年4月1日	18歳
2004年4月2日以降 生まれ	18歳の誕生日	18歳

近年、選挙権年齢や国民投票の投票権年齢なども18歳に引き下げられるなど、若者にも国政の重要な判断に参加してもらうための政策が進められてきました。

こうした中で、18歳以上を大人として扱うのが適当ではないかと議論され、成年年齢の引き下げが行われました。

選挙公営の拡大を審査（新規条例） 小中一貫教育の推進を調査

第1回定例会後に行った主な委員会調査および報告された内容です。

① 新型コロナウイルス感染症対策

② 光ファイバ整備事業

③ 第7次総合計画第4次実施計画

④ 町制施行50周年記念式典等

⑤ 防災対策の推進

⑥ 各施設のオープン状況・行事予定など

⑦ 過疎地域の公示

⑧ 移住定住の促進

⑨ オープンデータへの取組

⑩ 教職員住宅整備事業

⑪ 小中一貫教育

⑫ コミュニティスクールの推進

⑬ 宮舞町湿原保全に関する経過説明

⑭ 成人式に関する事前質問に

対しての回答

⑮ ふるさと応援寄付金の収納

状況

別海町議会議員及び別海町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の制定

この条例は、選挙公営の拡大について定めるもので、町長選挙・議会議員選挙ともに、選挙ポスターの作成・選挙用自動車の借用・選挙用ビラの作成が公費で賄われることになりました。

町議選では認められなかったビラの作成配布について認められたのは大きな進展といふことになりました。

また、これまでの町議会議員の立候補時には必要のなかった供託金が導入されます。（金額は15万円。冷やかしを防ぐために法務局など供託所に収める金銭のことで、法定得票数に達しない候補者の供託金は全額没収されます）

この条例は、本会議から担当の委員会に詳しい審議を任された案件です。

本会議での質疑の後、委員会で詳細な質疑と討論を行った結果、全会一致で原案のとおり決定すべきとなりました。

審査の結果は、本会議の最終日に委員長より報告を行いました。

小中一貫教育の推進

『全学校区で一貫教育を推進する』

義務教育の9年間を見通した学習指導・生徒指導を計画的・系統的に行うことにより、

● 学力の向上や中学校進学に伴う環境変化の緩和

● 異学年交流や多くの教職員の間わりにより多様な人間関係の形成

などを期待できます。

9年間を貫く小中一貫教育が必要と考えます。

一貫教育の形態には、
● 義務教育学校

（一体型・分離型）

● 小中一貫型小学校・中学校
（一体型・隣接型・分離型）
が、あります。

今後、学校の在り方の検討を十分に重ね、令和5年度頃から準備に入り、令和8年度に準備の整った地区から小中一貫教育をスタートさせるということです。

この件は、今後の推移も含めて、学校の在り方の議論を深めます。



令和8年度からいよいよ小中一貫教育がスタート

福祉医療常任委員会の活動報告

担当所管 福祉部・別海病院など 委員長 今西 和雄 副委員長 外山 浩司 委員 戸田 憲悦・瀧川 榮子・宮越 正人

待望の高齢者介護施設 尾岱沼に建設へ

以前から尾岱沼で要望のあった、高齢者介護施設の運営事業者が、公募により正式に決定し、令和5年度の運用開始に向けて建設されます。

「施設建設・運営に関し、民間活力を最大限活用し整備する」を基本とし、別海町公的介護施設基盤整備補助金・施設開設準備経費助成特別対

策補助金を充当します。

町が進めていた町内三地域（中央・西部・東部）を拠点とした介護サービス施設が整うこととなります。

施設の継続・安定した運営は、何よりも介護職員の充実が大切です。

今後も継続調査します。



高齢者介護施設の建設予定地

子宮頸がん予防 ワクチン接種に向けて

過去の接種経過を踏まえ、

国からの情報を基に接種体制の準備をしています。

接種は町立別海病院産婦人科で対応します。

なお、接種後の副反応などに不安を抱いている方もいることから、相談窓口を開設し対応します。

当委員会は、安全性に対す

る国の情報をつぶさに確認し、対象者に対して細やかに情報提供するよう要望しました。

新型コロナウイルス 4回目接種について

60歳以上はこれまで同様に集団接種します。

18歳以上60歳未満のうち基礎疾患を有する方や、新型コロナウイルスにかかった場合重症化リスクが高いと医師が認める方は、接種対象者となり、申請により接種券が発送されます。

令和3年度町立別海病院 事業会計・決算の概要

町立別海病院では、町民に信頼し愛され、安定した良質な医療提供ができるよう努めています。

しかし、医師不足など医療提供体制は依然として厳しい状況下にあります。

新型コロナウイルス感染症拡大により産婦人科病棟を休止し、コロ

ナ専用病棟に充て、医療体制の制限により手術件数が減少するなど、大きな影響を受けました。

そのような状況の中、ワクチン接種や感染者の治療など医療スタッフ・職員一丸となって対応してきました。

経営面では、コロナ対応に対する助成などで医業収益は増額となりましたが、診療材料費や委託料などの増加により、費用も増えました。

結果、収益より費用が上回り、一般会計から補助金・負担金の繰り入れを行っています。

引き続き医療体制の充実とともに経費削減を図り、健全経営に努める、との報告がありました。

当委員会は、医師不足の解消、安定した経営の継続は、病院をよりどころとする町民にとって大きな願いであることから、より安定した病院運営に向け、理事者の考え方も確認しながら継続調査を行っていきます。

産業建設常任委員会の活動報告

担当所管 産業振興部・建設水道部など 委員長 松壽 孝雄 副委員長 小椋 哲也 委員 中村 忠士・松原 政勝・田村 秀男

遊水池・排水調整池を 現地調査

国営環境保全型かんがい排水事業の整備概要と効果について現地調査をしました。

当町では、平成11年から排水路が整備され、別海地区、別海南部地区、別海西部地区の3地区が令和2年までに完了し、現在、別海北部地区が平成24年から始まり進行中です。



水生植物の働きで排水の浄化を行う排水調整池

今回の調査では、別海南部地区の第3西別川排水路の排水調整池と遊水池を現地調査しました。

かんがい排水事業の目的の1つには、牛は1日約60^{kg}（人の約30倍）の糞尿を排泄するため、家畜糞尿に水を加えた良質な有機質肥料（スラリー）として利用するための用水施設（用水路・肥培かんがい施設）の整備があります。

2つ目には、土砂や糞尿の河川への流出防止のため、農地の排水被害の軽減と併せて河川の水質保全に必要な浄化機能を備えた排水施設（排水路・遊水池・排水調整池・土砂緩止林）の整備があります。実際に現地の排水調整池と河川に近い遊水池では、水生植物の働きで水がきれいになっていることが目視ではっきり

と確認できました。

今後、これら施設の汚泥除去など施設の管理面での課題はありますが、現地視察を通して両排水路とも良好に機能していることを確認しました。



水を時間をかけて浄化するための遊水池

除雪実施状況

令和3年度の除雪は、町有車12台、民間車27業者79台の計91台で実施されました。

出勤日数は、町有車業務委託で80日、民間車業務委託で24日、人力除雪委託で12日と

なっており、出勤時間9200時間を超え、金額では約1億7千万円の経費を要しました。

エゾシカ捕獲実績

令和3年度のエゾシカ捕獲実績については、オス1068頭、メス2088頭で合計3156頭でした。

捕獲の内訳については、春駆除で、1308頭、秋駆除で1195頭、越冬地対策の囲いなどで走古丹地区516頭、野付半島地区137頭でした。

この他、エゾシカ食肉事業協同組合が166頭捕獲しています。

捕獲費用では、買上金その他、個体処理（1頭5500円）と運搬（1回5万9400円）などに係る費用で、合計約5150万円（町費1480万円、補助金2600万円、中山間1070万円）を要しています。



政策議会を目指し 委員会活動、議員活動の活性化

特別委員会で検討した3つのポイント

- ・ 通年議会制度に関して「現時点では導入しない」
- ・ 議選監査委員について「議会からは監査委員を選出しない」
- ・ 災害時や感染症対策における議会の業務継続計画を策定

令和3年第1回定例会にて、本委員会が設置され、3項目の付議案件を調査しました。

先駆的な議会の実状調査およびオンライン視察調査、議選監査委員との意見聴取、議会サポーターの講話および議員間討議などを実施しました。12回の委員会を開催し、本年第2回定例会で調査協議の経過について最終報告をしました。

通年議会※1制度に関する事項

「現時点では導入しない」市町村議会の先進事例の調査や、当議会の議会サポーターである西科純氏から講話、根室市議会へのオンライン視察研修で、現時点での問題点、必要性を整理、調査、研究し

ました。

当町での定例会・臨時会の招集方法や回数、その都度、弾力的に運営できているものと考えられ、専決事項の乱発などの現状はありません。

議会の自主・自律性確保に合致しており、常任委員会での審査権・調査権が担保され



別海町では年4回の定例会に加え必要に応じて臨時会が行われる

ており、導入する必要はないと判断しました。

※1 通年議会

議会の活動可能な期間である「会期」をなくし、年間を通して活動します。これにより、議会の判断で必要に応じて本会議などを開催できるようになり、災害などの突発的な事案や緊急の案件への速やかな対応を図ることができるようです。

議選監査委員※2制度に関する事項

「委員は選出しない」

議会の主要な機能の一つは監視にあります。

議選監査委員は、識見監査委員と相互に専門性を活かし、補充し、充実した監査を行っており、経験した財政面での知識を議会活動の中で活かすことができます。

議選監査委員との意見交換を実施しました。知見の活用方法や中立性の困難さなどの問題・課題の指摘もありまし

た。

しかし、制度のメリットを発揮することで、監査機能強化につながると考えられることから、現状どおり続けるという意見もありました。

しかしながら、監査委員は、専門性のある識見監査委員に委ね、専門性や独立性を発揮した監査を実施することにより、監視機能の充実強化がより図られることが望ましいです。

議会としての監視に集中するため、全員で構成される予算決算審査特別委員会を設置しており、監査委員と議員の議会活動・委員会活動の役割分担の明確化を図る必要があります。

議会活性化の取り組み、議会の在り方、予算決算審査特別委員会の常任委員会化を含め、議会の監査機能強化策の検討などを継続します。

議員が議会活動に全力を注ぎ、議会基本条例で定められた政策議会の実現に近づけた

め、委員の選出はしないものとします。

※2 議選監査委員

議員選出の監査委員のことで平成29年の地方自治法の改正により、議員からも選出するか各自治体の判断により選択できるようになりました。当町では現在、議選1名、識見1名の監査体制となっています。

災害時における議員の初動及び議会業務継続計画※3策定事項

先駆議会の計画の比較、当議会に係る関係法令・各種計画との相関を調査し、業務継続計画の策定作業を進めました。

災害時の議会および議員の行動指針、執行機関の動きと議会の関係、議会が発動する災害の種類、地震および風水害などに係る業務継続の体制および活動の基準、行動時期に応じた活動内容の整理、審議を継続するための環境の整

理、感染症に係る業務継続の体制および活動基準、連絡体制、防災訓練などを調査し、策定しました。

※3 業務継続計画

一般にはBCPと呼ばれるもので、大規模な災害などの状況で、応急業務や業務継続の優先度の高い通常業務を特定し、その業務の継続に必要な資源の確保・配分や、そのための手続き、指揮命令系統の明確化などを図る計画のことです。





議員6人による一般質問

質問 「18歳成人式」広く町民の声を聞いて決めるべきでは



田村秀男議員

回答の要約

全町民の方々にアンケート調査を実施し、その結果を見て、教育委員会、議員の皆さんと協議した上で結論を出したい。

質問 全国的に取り扱いを慎重にしている18歳での成人式について、当町でもアンケート調査や社会教育委員、当該保護者、関係者などから広く意見を聞いたのか。

3月20日の開催日を含め18歳で成人式を開催するに至った経緯は。

答弁 成年年齢が本年4月に民法改正により引き下げられた。改正後の成人式の在り方は、年齢引き下げをせず従来の方法による20歳での成人式を開催する方向で内部決定をした。

その後、町長と協議を進め

る中、高校や町内の業者などと相談や協議して、段階的に対象年齢を繰り下げ、令和6年度以降は、成人式対象年齢を18歳とし、開催日を年度末の春分の日に行う決定に至った。

質問 町民主体の協働のまちづくりを実現するのが、町の基本理念である。

基本原則なのに、「18歳成人式」については、成人になる意識を持つ意味で、式は18歳で行うのが妥当と町が決めたと先行して報道された。

町民への情報の共有と説明責任が欠如していると思う。

決めた理由の説明もなく町

民から多くの戸惑いや批判の声がある。

制度改正だけの考えではなく、町民にとってより良い成人式を行うよう、町民の声を受けてこの方針を変更する考えはないのか。

答弁 今生まれた子どもたちを含め全員影響するので、全町民の方々にアンケート用紙を配って、ご意見を賜りたい。町民の声をしっかり受けとめて、行政の中に取り込んでいきたい。

別海町成人式対象者と参加者

開催日	成人対象者			参加者数		
	男	女	計	男	女	計
H31. 1. 7	91	90	181	59	55	114
R 2. 1. 7	91	74	165	51	41	92
R 3. 12. 26 延期実施	91	76	167	26	14	40
R 4. 1. 7	99	68	167	48	35	83
R 4. 12. 25 開催予定	70	56	126	—	—	—

※別海町教育委員会資料

過疎地域からの脱却戦略は

質問 4月から当町は過疎地域の指定を受けた。

過疎地域から脱却する起爆剤として、別海町の生産物を「生産・加工・販売・流通」の工程を地域で完結させる「一貫処理拠点施設の創造」を提言する。

これにより、ふるさと納税を飛躍的に伸ばすノウハウを進化させ、地域ブランドづくりと併せて雇用の場が生まれ、定住人口を確保することも可能となり、持続可能なまちづくりにつながると思うが。

答弁 別海町が生産物を加工・ブランド化し、流通販売する拠点施設の創造はこれから町が目指すべき方向の一つと考えている。

議員の提案する町内完結型拠点施設の創造についても、官民協働を軸にその可能性について十分模索をしていく。



詳細はこちらからご覧になれます

議員6人による一般質問

問 新型コロナウイルス感染症対応 地方創生臨時交付金について



横田保江議員

回答の要約

原油価格・物価高騰による緊急経済対策としての支援は、調査をした上で検討する。

質問 政府は、コロナ禍における原油価格・物価高騰対策を閣議決定したが、今年度の臨時交付金の交付スケジュールと当町における事業計画の内容とスケジュールは。

答弁 臨時交付金については、本年5月上旬、7月下旬、冬頃、3回の計画提出の受け付けがあり、提出時期に応じて、6月中、9月中、冬頃に交付決定が行われる。

当町では、原油価格や物価高騰が与える影響を注視するため、5月の実施計画提出は見送り、7月の提出に向けて対象事業の検討を行っている。

質問 学校給食費については就学援助制度があるが、支援拡充の考えは。

答弁 給食費の臨時交付金の活用については、給食費のみならず、全体計画の中で調整し活用することも検討したいと考えている。

質問 昨年は、住民税非課税世帯と家計が急変した困窮世帯に10万円支給した。しかし、非課税世帯に近いが、支援がなかった世帯は、コロナ禍で収入が減少し、物価も上がり、より厳しい状況になると思うが。

昨年同様、住民税非課税世帯と家計が急変した困窮世帯に10万円支給した。しかし、非課税世帯に近いが、支援がなかった世帯は、コロナ禍で収入が減少し、物価も上がり、より厳しい状況になると思うが。

答弁 地方創生臨時交付金の活用については、今後、町全体の実施計画の中で調整し、議員がご提案の対象者世帯の方も考慮しながら慎重に計画する。

地方創生臨時交付金の活用については、今後、町全体の実施計画の中で調整し、議員がご提案の対象者世帯の方も考慮しながら慎重に計画する。

質問 事業者に対する電気、ガス、燃料費などの光熱費の負担軽減策を行う考えは。

答弁 道としても、交付金の活用対策として、原材料などの価格高騰や燃料高騰により影響を受けている道内の中小企業など、または交通事業者の事業継続の支援などがあ

この支援には、電気、ガス、燃料費などによる影響が含まれており、町独自の支援が必要か、別の支援が必要か見極めて判断する。

質問 事業者に聞いたところ、光熱費が上がり大変だと言う声が多くある。是非、支援が必要と考えるが。

事業者に聞いたところ、光熱費が上がり大変だと言う声が多くある。是非、支援が必要と考えるが。

答弁 調査をして、どういう形での支援策が町としてふさわしいのか十分に検討し、方向性を打ち出していきたい。

調査をして、どういう形での支援策が町としてふさわしいのか十分に検討し、方向性を打ち出していきたい。

質問 地域経済の活性化と生活者支援を目的としたプレミアム付商品券発行の考えは。

答弁 道の緊急経済対策案には、プレミアム付商品券や食事券など、需要喚起・消費喚起による経済活動の活性化策も含まれており、事業の制度内容を見極めて町としても検討する。



物価高騰により影響を受けている事業者が多い

町民の声を細かく、広く聞いてほしいです。

質問を終えて



議員6人による一般質問

質問 GIGA(ギガ)スクール構想の 現状調査をしているか



中村忠士議員

質問 GIGAスクール構想は、児童生徒1人に1台のパソコン端末を整備するといふものだが、教職員の多忙化や児童生徒や保護者の負担など問題点が指摘されている。実態の調査はしているか。

答弁 教職員が無理なく技術の習得ができる対策をとってきた。保護者の負担感についても解消されてきている。

質問 個別のアンケートなどで生の声を聞いているか。

答弁 個別に聞くことはしていない。教育委員会の学校

回答の要約

学校訪問などで聞き取りをしている。

訪問などで聞き取りをしている。

質問 端末の更新期には各自で購入するということになるのか。

答弁 国の方向性は示されていないが、そういうことになるのではないかと。

学校などでの農薬(除草剤)の使用・管理は

質問 幼稚園や学校などでの農薬(除草剤)の使用や管理の状況はどのようになっているか。

答弁 小学校8校中3校、中学校8校中5校で使用している。

幼稚園・保育園では使用していない。

質問 学校では8校が使用し、うち7校でグリホサート系の除草剤を使用している。グリホサート系農薬の危険性を指摘する論文なども発表されるようになってきている。教育委員会の見解を聞きたい。

答弁 今現在、禁止農薬にはなっていない。問題があるなら法律が先に動く。国の動向を注視しつつ、取り扱いについては十分注意していく。

ゲノム編集トマト苗の無料配布への対応は

質問 ゲノム編集は、生物の遺伝子を一部破壊して特定の性質を持つ生物を作り出す技術だ。ゲノム編集食品については

安全性の証明はされていない。ゲノム編集トマト苗の障がい者施設や学校への無償配布が企業によって計画されているが、町や教育委員会はどう受けとめているか。

答弁 教育委員会に対する提供の申し出はなく、無償提供は受けていない。

児童生徒の安全性を最優先に考え、安全性が確認されるまで、児童生徒の口に入るということがないように慎重に対応していく。



タブレットを使った授業風景



詳細はこちらからご覧になれます

議員6人による一般質問

質問 貴重な湿原の調査研究のため 大学や研究者との連携と予算確保は



木嶋悦寛議員

質問 貴重な湿原の生物については、今後本格的な調査研究が必要だ。

最終的には別海町の自然の全容を解明していくために、大学や研究機関、研究者との連携をとり、あらゆる生物の調査研究を進める必要がある。

これまでの調査からも希少な生物が生息する可能性が高く、多くの時間もかかることから、まずはできるところから確実に取り組む必要がある。自然保護や環境保全に対する基本的な考え方と、調査研究に向けて大学や専門分野の研究者に委ねるための予算の確保について町長の考えは。

回答の要約
専門分野の調査と予算化は、大学など関係機関と連携し、今後必要とされる調査内容を精査し判断したい。

答弁 この町に暮らす全ての人たちのため、自然保護や環境保全に努める必要がある。

そのため、森林の整備および河川環境などの調査・研究を継続するとともに、環境保全活動をを行っている団体に対する支援や啓発活動を推進しており、今後とも当町の豊かな自然を守っていききたいと考える。

専門分野による調査研究や予算化については、調査対象が膨大になると想定されることから、大学をはじめとした関係機関と連携し、今後必要とされる調査内容を精査した上で判断したい。

質問 野付風蓮道立自然公園の国定化は、関連する区域に対しても保護・保全体制の強化がなされた。

面での取り組みができること、自然を生かした酪農や漁業、観光業の差別化による振興など、もたらす効果は計り知れない。

国への積極的な情報提供、情報共有、要請など町としても取り組めることがあると考えるが。

答弁 環境省では国立・国定公園の新規指定や拡張の候補地について調査を進めてきた結果、先般、同省から北海



ムセンズゲ群落やイトナルコスゲ群落をはじめとする多くの絶滅危惧種が確認された兼金沼湿原

道を通じて野付風蓮道立自然公園の国定化に向けた協議に入る旨の連絡があった。

やはり漁業、観光業にどういった制約があるのか一番心配だ。しっかりと情報を把握して、大丈夫であるという情報があれば国定化に向けて、町として最大限の努力をしたい。

質問 羅網シカ（海岸線のゴミなどが角に絡まったシカのこと。エサが摂れなくなり衰弱死するケースも確認されている）の問題について、町の認識と見解および今後の取組、既存NPOへの支援などの考えは。

答弁 羅網シカに特定しては対策を行っていない。

漁網などが捨て置かれていることが羅網の原因ということにおいては、ゴミをしっかりと処分しようということが大切なことであり、そこはしっかりと取り組んでいく必要があると考えている。

誰のための自然保護、環境保全なのか。私には答弁の一つひとつが他人事のように聞こえた。



議員6人による一般質問



街中に飾られていた応援懸垂幕



外山浩司議員

質問 新濱選手、森重選手への 町民栄誉賞の授与は

質問 新濱選手は、世界スプリント選手権やワールドカップ500メートルで総合優勝をし、森重選手は、北京オリンピックで銅メダルを獲得す

回答の要約

別海町表彰式条例に基づき、表彰形式での贈呈を検討している。

るなど、ともに町民に大きな夢と希望を与えてくれた。

二人の努力と功績から町民栄誉賞の対象者になるのでは。

答弁 2人は、スピードスケートの国際大会における輝かしい活躍により町民栄誉賞の候補となる。どのような形式で表彰するのが最良か、時期などを検討中である。

コロナ禍での 学校生活について

質問 水泳授業が、2年間実施されていない学校がある。水泳授業の考えは。

答弁 必要な授業だと考えているが、更衣室での密状態や着替えに時間がかかるなどの問題がある。

効果的に水泳授業が確保されるよう努力していく。

質問 陽性反応の子どもが確認された場合、濃厚接触者の該当者や保護者への説明は。

答弁 学校で感染の可能性のある児童生徒などをリストアップし、出席停止などの対応を協議し、各家庭に説明をしている。

質問 3年目を迎え、子どもたちへの影響は。

答弁 学力や心の問題についても顕著な変化が見られなかった。

不登校数の増加もなかった。

質問 実態把握のためにアンケート調査を実施しては。

答弁 景気のマイナスイメージが家庭状況が悪化するなど、デリケートな問題もある。

まずは現場の様子を一番知っている先生方に、状況の聞き取りを行うのが第一段階と考えている。

質問 5月に文部科学省などからマスク着用の新しい方針が出されたが、登下校を含むマスク着用は。

答弁 各学校、幼稚園に対して登下校時においてマスクを外すよう促す。

これからの時期は、熱中症が懸念されるので、健康を最優先に考えた対応を行っている。



オリンピック出場の三選手の後輩たちからも、将来のオリンピック選手誕生を！



詳細はこちらからご覧になれます

議員6人による一般質問

質問 感染症対策取り組みの今後への活かし方は



瀧川榮子議員

質問 別海町の「別海町役場新型コロナウイルス感染症対策に関する対応マニュアル」はどうか活かされてきたか。

答弁 マニュアルは、職員とその家族が感染しない、他人に感染させないための予防策、感染した場合に業務体制を維持し、感染拡大防止を目的に基本事項を定めている。

今年3月末、職員の感染を確認して以降、マニュアルに基づき、感染対策の徹底を図り、感染拡大を最小限に抑えることができたと思えている。

質問 一般住民にわかりや

回答の要約

役場内の感染対策マニュアルに基づき感染拡大を抑えてきた。町民向けにも精査していきたい。

すいマニュアルを作る考えは。

答弁 現在のマニュアルはあくまでも役場の職場内の感染対策を定めたもの。

町民向けに情報を発信してきたが、さらに精査していく。

質問 町立別海病院内の感染対策や職員体制など備えは。

答弁 令和2年11月に国内の新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、感染防止対策を組織横断的に行うため、対策チームを設立した。

基本計画を策定し、コロナ禍でも診療体制を確保するた

め、外来・入院などの業務毎にマニュアルを策定し院内感染防止対策に取り組んでいる。

5月に発生した院内クラスターを踏まえ、不測の事態に必要な病棟への職員増員、町内感染拡大による検査対象者増加にも適宜対応できるサポート体制を整えた。

今後も感染状況に応じた対策を引き続き実施していく。

貴重な湿原保存への取り組みは

質問 宮舞町にある湿原に、絶滅危惧種など貴重な植物が見つかった。開発が進めば湿原は姿を消す。湿原が重機置き場になった場合、湿原を守ることができると考えるか。

答弁 周辺部理め立てにより、湿原の乾燥は進むと予想される。土地所有者の理解を得たうえで、できるだけ長く湿原状態が保持できるように対策を検討していきたい。

質問 宮舞町の湿原は町の中心部にあり、絶好の自然環境を学習する場だ。自由に歩けば植物は踏まれる。対策は。

答弁 残された湿原部分の取り扱い、教育的活用も含め、正式な合意に向け所有者と協議中であり、活用が可能になれば保存を優先し、湿原への影響が少ない形が望ましいと考えている。

植物はともも小さなものが多く、子どもたち之間近で見学んでもらうにはどうすれば良いか検討していく。



湿原に咲く小さな花

衛星写真で小さな湿原を見つけ、貴重な植物を探して歩く人がいることを知った。

定例会・臨時会のまとめ

令和4年度第2回定例会会議結果報告 当町出身者の活躍を称える 表彰条例の一部改正などを審議

第2回定例会の概要

6月20日に招集され、会期を6月24日までの5日間に決定。

1日目 6月20日

町長から行政報告、副町長から提出案件の概要説明など。

町長からの行政報告

- 「野付半島・風蓮湖・根室半島」が、新たに国定公園の候補地に指定された。

- 6月10日現在の、町内新型コロナウイルス感染状況の経過と、76・3%となった3回目ワクチン接種状況と4回目の接種を7月21日から予定していることの公表。

- 9月中旬開催予定の産業祭は、一部内容を変更し、3年ぶりに開催する方向で協議することを公表。

議案などの内容説明

- 各会計補正予算3件を予算決算審査特別委員会に付託

- 議会議員及び町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の制定について総務文教常任委員会に付託

- 条例の一部改正3件
- 組合の規約変更3件

- 工事請負契約の締結3件
- 財産の取得2件

- 辺地に係る公共的施設の総合整備計画の変更
- 新たに生じた土地の確認および町の区域の変更(編入)

- 一般会計繰越明許費繰越計算書等の報告4件

議案に関する主な質疑

- 別海町議会議員及び別海町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の制定について(中村・瀧川議員)

- 別海町表彰条例の一部を改正する条例の制定について(外山・中村・今西議員)

- (木嶋・宮越議員)

- 別海町国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について(中村議員)

2日目 6月21日
6名の議員が一般質問。

3日目 6月22日
本会議を休会し、予算決算審査特別委員会を開催。
産業建設常任委員会を開催。

予算に関する主な質疑

- 産業振興基金繰入金(田村議員)

- 新型コロナウイルス感染症対策事業(木嶋議員)

- 西春別ケアセンター整備事業(瀧川議員)

- 児童福祉事業経費(瀧川議員)

- 林道専用道整備事業(松壽議員)

- 社会資本整備道路交付金事業(宮越議員)

4日目 6月23日
本会議を休会し、総務文教常任委員会および福祉医療常任委員会を開催。

5日目 6月24日
最終日は、委員会付託議案

の審査結果報告と各議案の討論・採決が行われ、全ての案件が全会一致で可決。
議会制度調査特別委員会の調査最終報告。(詳細は6ページ)

「森林・林業・木材産業によるグリーン成長に向けた施策の充実・強化を求める意見書」、「地方財政の充実・強化に関する意見書」、「北方四島へのロシア法令に基づく(特惠制度)に対する意見書」、「豪雪地帯における介護事業所への適切な評価を求める意見書」の4件を原案通り可決。

第2回臨時議会の概要
5月18日に開催され、昨年度人事院勧告による職員等の給与に関する条例の一部改正など7件を可決。期末手当の減額、特定防衛施設周辺整備調整交付金増額見込みに伴う事業の追加・財源組替や野付中学校の設備改修工事費増額などの一般会計補正予算を可決。

その他、専決処分の承認・報告4件。

研修報告・議会のうごき

3年ぶりの 議員研修会に参加して

北海道町村議会議長会の主催による「議員研修会」が、令和元年以来3年ぶりに札幌コンベンションセンターで開催されました。

本研修会は、従来から全員が参加対象でしたが、コロナ禍であり議会運営委員会の協議を経て、小林議員のほか1期生3人、2期生2人の6名が参加しました。

全道の地域を二分して「新型コロナウイルス感染症・感染拡大防止ガイドライン」に従っての開催でした。

講師は、永田町霞ヶ関で政治を見続けて40年以上、24人の総理大臣を直接取材する最前線の政治記者の経験を持つ、政治ジャーナリストの泉宏氏の「参院選最終情勢分析と選挙後の政局展望」についての講演でした。

生々しい永田町の派閥間のやり取り、国政政党9党首の

猛暑の列島を汗まみれで駆け巡る選挙戦の様子や政権に挑む野党7党首の内心など、普段聞き及ぶことがないお話を拝聴しました。

この研修会で得たものを、参加者が持ち帰り議員活動の糧とし、議員の資質向上はもちろんのこと、豊かな暮らしと地域の夢を実現し、将来にわたり安心して生活できる当町のまちづくり、少しでも役立たせる思いでした。

研修会の参加機会に感謝するとともに、任期最後の議員活動になります、住民の代表者としての自覚を忘れることなく職務を全うしたいと思います。



研修会場の様子

1 議長、副議長、各議員（委員）の動向について

期 日	内 容	備 考
3月22日	別海町国営環境保全型かんがい排水事業促進期成会総会 (別海町)	議長
4月7日	冬季北京オリンピック出場選手表敬訪問対応 (別海町)	議長
4月19日	根室町村議会議長会定期総会 (標津町)	正副議長
5月12日	全国地方議会サミット2022実践紹介 (オンライン)	議長
5月18日	別海町スポーツ選手後援会総会 (別海町)	議長
5月25日	別海町酪農後継者を育てる会総会 (別海町)	議長
5月29日～31日	全国町村議会議長会町村議会議長・副議長研修会 (東京都)	正副議長
6月3日	北海道大学院生による議会改革に関する取材対応 (オンライン)	議長
6月8日	根室地方総合開発期成会定期総会 他 (根室市)	議長
6月14日～15日	北海道町村議会議長会第73回定期総会及び議長・事務局長研修会 (札幌市)	議長

2 一部事務組合・広域連合議会について

期 日	内 容	備 考
3月4日	根室北部消防事務組合議会定例会 中標津町外2町葬斎組合議会定例会 根室北部廃棄物処理広域連合議会定例会 (中標津町)	関係議員

※備考の欄には、公務として出席している議員を記載しており、公務外で地域行事などに参加している議員については記載していません。

シリーズ
**町民に
聞きました**

新成人になって思うこと

今年の4月1日に初の18歳新成人となった別海高等学校の生徒3名に、新成人になって思うこと、変わったことなどお話を伺いました。



石井 健太さん 5月8日生まれ



田端 日和さん 4月27日生まれ



佐藤 小桜さん 5月13日生まれ

広報委員 新成人になって家庭で話題になったことはありませんか。

佐藤さん 母から成人としての責任について話しをされる機会が増えました。あと、来年からお年玉ももらえるのか問題が勃発しました。まだ決着はついていませんが、弟妹がふたりいるので勝ち取っていきたいです(笑)

広報委員 先日、初めての投票をしたと思うのですが、どのように感じましたか。

田端さん 以前はニュースなどで選挙の話題が出て、あまり興味を持っていませんでしたが、今回の選挙では候補者の話す内容や表情などに注目するようになりました。

石井さん わたしは地元で就職するのですが、新聞などで各党の経済面での取り組みなどを調べて投票しました。

広報委員 自分が成人したと実感した時はいつですか。

田端さん 昨年の成年年齢引き下げの報道などを見ている時は、まだ全く実感はありませんでした。

佐藤さん 誕生日が近づいてくると、もうすぐ成人するんだ、というワクワク感がありました。誕生日を迎えて、友達と成人についておしゃべりする中で、これからは成人としての責任を持って行動しなきゃ、と強く実感しました。

広報委員 成人式を行うタイミングについてはどう考えていますか？

田端さん 18歳に早まることしたら、私たちは調整の関係で成人した翌年に開催となるので、成人の年にできないのは、ちょっとだけさびしく感じます。

佐藤さん 先輩たちをみて、進学や就職して2年後に集まって、地元でワイワイするのに憧れて楽しみにしていました。

議会の傍聴の際はマスクを持参ください!

議会の会議は、誰でも傍聴することができますが、コロナウイルス感染症対策のため、発熱がなくマスクを持参される方に限っていますのでご了承ください。

令和4年9月定例会の予定

9月12日(月) 10時～	1日目 本会議(議案の説明・質疑など)
9月13日(火) 10時～	2日目 本会議(一般質問)
9月14日(水) 10時～	3日目 本会議(一般質問) 予算審査特別委員会
9月15日(木) 10時～	4日目 常任委員会
9月16日(金) 10時～	5日目 本会議(議案の討論・採決など)

9月									
				1	2	3			
4	5	6	7	8	9	10			
11	12	13	14	15	16	17			
18	19	20	21	22	23	24			
25	26	27	28	29	30				

※議事の内容は、変更することがありますので、議会ホームページをご確認されるか、議会事務局までお問い合わせください。



多年にわたり、議会議員として議会制度の高揚と地域の振興および住民福祉の向上、地方自治の発展に寄与してきたことが認められ、道議長会の自治功労者として、佐藤議員が25年以上、西原議長が15年以上の勤続が表彰されました。

道議長会の自治功労者を表彰

「密閉空間」「密集場所」「密接場面」3つの**密**を避けましょう!